

## VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぱんしゃだんほうじん にほんきょういくえんげきどうじょう 一般社団法人 日本教育演劇道場		
代表者職・氏名	代表理事 大河内真由美		
制作団体所在地	〒 329-2815		
	栃木県那須塩原市下大貫1246		
電話番号	0287-36-2488	FAX番号	0287-36-4843
ふりがな 公演団体名	げきだんらくりんざ 劇団らくりん座		
代表者職・氏名	代表 大河内真由美		
公演団体所在地	〒 320-2815		
	栃木県那須塩原市下大貫1246		
制作団体 設立年月	1950年 4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事 大河内真由美 理事 草野知明 理事 古賀章	劇団員7名、制作部1名 加入条件:採用試験合格後理事会で承認、2年間の研究生を経て劇団員に昇格	
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	杉山幸子 (一般企業での事務職歴12年)
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	古賀章(市役所勤務歴25年) 経理顧問:清水税理士事務所

<p>制作団体沿革</p>	<p>1950年 劇団らくりん座の母体となる 日本教育演劇道場が設立  1952年 劇団らくりん座発足 栃木県演劇教室の巡回公演を始める  1978年 芸術文化振興基金助成事業(社)日本児童演劇協会主催  「児童青少年演劇地方巡回公演」参加  1989年 文部大臣表彰による地域文化功労団体賞を受賞  1992年 子どものためのドラマスクール開始(～2009年)  1997年 那須野が原文化振興財団主催演劇講座講師(～現在)  2000年 子ども演劇塾を開始(～2011年)  2002年 とちぎ総合学習文化財団主催ドラマスクール指導  2014年 (公社)日本児童青少年演劇協会主催 全国地方・離島・へき地  「児童青少年舞台芸術」巡回  2018年 第58回久留島武彦文化賞団体賞を受賞</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>昭和27年9月に、栃木県内の小学校で演劇教室を行って以来68年間にわたり、日本全国の小中学校の体育館で演劇鑑賞教室を約13,000回実施。2019年には年間4作品、100ステージ以上の公演を実施している</p> <p>『あらしのよりに』は2018年の初演以来110回の公演実績となる。(2021年7月現在)</p>		
<p>特別支援学校に おける公演実績</p>	<p>平成30年度  栃木県立盲学校、栃木市特別支援学校、那須特別支援学校、宇都宮市立青葉学園</p> <p>令和2年  栃木市特別支援学校</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有</p> <p>有</p> <p><a href="https://www.youtube.com/watch?v=6lY87zx70DY&amp;t=4s">https://www.youtube.com/watch?v=6lY87zx70DY&amp;t=4s</a></p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>
	<p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p><input type="text"/></p> <p><input type="text"/></p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団らくりん座】

対象	<input type="radio"/>	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	中学生
	<input type="radio"/>	小学生(中学年)		
	<input type="radio"/>	小学生(高学年)		
企画名	劇団らくりん座公演「あらしのよるに」			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	「あらしのよるに」 原作/きむらゆういち 脚本/かめおかゆみこ 演出/印南貞人(東京芸術座) 作曲/上野哲生(ロバの音楽座)			公演時間(100分) 休憩含む
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有	<input type="radio"/>	制作団体以外が所有する事項が含まれる 取得済 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾状況
演目概要	ある嵐の夜、真つ暗な山小屋の中へ避難してきたヤギとオオカミ、2匹は相手が誰だか分からないまま、意気投合する。そして「あらしのよるに」を合い言葉に翌日再び会う約束をする。翌日、2匹は互いの正体を知ることになるが、「食べる」側と「食べられる」側という関係を超えて「ひみつのともだち」となる。しかしやがて、2匹の関係はお互いの仲間に知られてしまい、それぞれ相手の情報を探ってくるように命じられる。ヤギのメイとオオカミのガブは、集団内での立場よりも、お互いの友情を大切に2匹で逃げることを決意。ヤギとオオカミと一緒に暮らすことができる「緑の森」を目指して。 吹雪の中を行く2匹。空腹と寒さに体力を削られ、もう歩けないと感じたメイは「私の分まで生きて」とガブに自分を食べるように懇願する。そのとき既にオオカミの群れは間近に迫っていた。ガブはメイを食べることができず、オオカミたちと闘ったが雪崩にのまれてしまった。雪がやみ、目覚めたメイのそばにガブはいなかった。 ある日、ガブが近づいてくるのを見て、喜んで近づいていくメイ。しかしガブは雪崩のショックで記憶を失っていた。ガブの豹変ぶりを嘆き悲しんだメイは、「あのあらしのよるに出会わなければよかった」と叫ぶ。その言葉でガブの記憶は戻り、2匹は再び友情で結ばれたのであった。 【見どころ及びセールスポイント】 アニメ映画など様々な作品化されて高い評価を受けている物語そのものの素晴らしさに加え、当劇団では、回り舞台を駆使し草原、山の頂上、雪山へと表現する。こうした想像が膨らむ舞台美術に壮大な大地のメロディーに乗せて小さな生き物が歌う力強い歌、様々な機材を使用して舞台を物語の世界へ変させる照明など、まさに総合芸術と呼ぶにふさわしい舞台を構成している。			
演目選択理由	利害が対立する相手と友情を育むことは可能か、自らが生きて行くために他の命を犠牲にすることをどう考えるか、がこの物語の重要なテーマです。 食欲という本能を乗り越えて友情を大切にガブ、食べられてしまうかもしれないという死の恐怖を乗り越えてガブを信じるメイ、相手への信頼や不信が交錯する中、二匹は相手を思いやり、いかに「友達」が自分たちにとって何よりも大切なものであるかに気が付きます。彼らの葛藤を通し、子供たちは自然と「友達」や「友情」について多面的に考えることになり、国家や宗教、いじめや新型コロナウイルス感染症など様々な対立や分断が生じている現代社会を生きるヒントを得て、想像力やコミュニケーション能力を育むこととなります。 また、「私たちが食べるエサにも命がある、命を食べるのが生きること」とメイもガブも気が付き、改めて生きるとはどういうことなのかを観客へ投げかけます。食育等の観点からも考察いただける作品です			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	森の動物たち10名前後、オオカミ達17名位、森のコーラス20名以上(森の動物たちも参加は可)として参加します。 ○ オリエンテーション(全員) オオカミとヤギはお友達になれるか、なれないか?もし自分がオオカミだったら?ヤギだったら?と考え、想像してみる。 ○ オオカミチーム 1幕ガブの回想シーン(オオカミ達の権力争いを見守る仲間のオオカミとして登場)と2幕始まりの遠吠えに参加 ○ 森の動物達 2幕冒頭「どしゃぶりの日に」オオカミから逃げ惑う動物達として登場し、ヤギの裁判に参加(その後、森のコーラスに加わる) ○ 森のコーラス隊 オオカミとヤギの「ひみつの友達」が仲間になれば、お互いの種族の秘密を探りに行くシーンの道行で劇中歌「未来を想う歌」を歌います。			
出演者	大河内真由美(所属歴35年、ワークショップ講師歴20年、身体を存分に使って子ども向け、親子向けのWSを勢力的に行っている) 中沢章(所属歴10年、ワークショップ講師歴8年) 杉山幸子(所属歴10年、ワークショップ講師歴7年) 高木彩(所属歴8年、ワークショップ講師歴5年) 笠原瑞己(所属歴2年) 手塚祐子(所属歴3年)			
公演出演予定者数(1公演あたり)	出演者: 6名	機材等 運搬方法	積載量: 2(ロング) t	
	スタッフ: 4名		車長: 7 m	
	合計: 10名		台数: 1台	

【公演団体名 **劇団らくりん座** 】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		4	時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～12時	13時30分 ～15時00分	10分	15時～18時	18時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	30人～60人(60人以上希望の場合は要相談)				
	本公演	共演人数はワークショップの人数				
ワークショップ 実施形態及び内容	○前半は全体でシアターゲーム、後半は配役毎に分かれて共演場面の練習 <前半> ミラーゲーム→劇団員の動きを真似して指・足・顔などそれぞれリズムよく丁寧に動かす 空間を歩く→与えられたお題の状況を想像して歩く 数字や絵画を作ろう→数人のグループで身体を使って一つの数字や絵を作る <後半> ・オオカミ→台詞や動きの練習。コーラス→歌を表情豊かに歌う練習					
ワークショップ 実施形態の意図	ミラーゲーム→身体と心の開放 空間を歩く→実体験や観察したもの空想したものなどを基に想像力を育む 数字や絵画制作→コミュニケーション向上、自主性を高めかつ協調性を育む 共演→集中力、自己肯定感の向上					
特別支援学校での 実施における工夫点	ワークショップは事前に学校と綿密な打ち合わせをし、児童の能力や適性に合わせた内容を実施します。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

# あらしのよるに

原作/きむらゆういち  
絵/あべ弘士(講談社刊)  
脚色/かめおかゆみこ 演出・美術/印南貞人 上演時間/80分(途中休憩10分含む)



## あらすじ

ある嵐の夜、真っ暗な山小屋の中へ避難してきたヤギとオオカミ。2匹は相手が誰だか分からないまま、心細さから夜通し語り合い、意気投合する。そして「あらしのよるに」を合い言葉に翌日再び会う約束をする。

翌日、2匹は互いの正体を知ることになるが、「食べる」側と「食べられる」側という関係を超えて「ひみつのももだち」となる。

しかしやがて、2匹の関係はお互いの集団にバレてしまい、それぞれ相手の情報を探ってくるように命じられる。メイとガブは、集団内での立場よりも、お互いの友情を大切に2匹で逃げざることを決意。ヤギとオオカミが一緒に暮らすことができる「緑の森」を目指して。

その頃、オオカミの群れは自分たちを襲ったガブを思い出していた。

吹雪の中を行く2匹。空腹と寒さに体力を削られ、もう歩けないと感じたメイは「私の分まで生きて」とガブに自分を食わせるように懇願する。

そのとき既にオオカミの群れは間近に迫っていた。ガブはメイを食べることができず、オオカミたちと闘ったが雪崩にのまれてしまった。雪がやみ、目覚めたメイのそばにガブはいなかった。

ある日、ガブが近づいてくるのを見て、喜んで近づいていくメイ。しかしガブは雪崩のショックで記憶を失っていた。ガブの豹変ぶりを嘆き悲しんだメイは「あのあらしのよるに」で出会わなければよかった。」と叫ぶ。その言葉でガブの記憶は戻り、2匹は再び友情で結ばれたのであった。



## 作者紹介

### 原作/きむらゆういち

1948年、東京都生まれ。幼児番組のアイデアブレーションを経て絵本・童話作家に。「あらしのよるに」で講談社出版文化賞絵本賞、産経児童出版文化賞JR受賞。

### 絵/あべ弘士

1948年、北海道生まれ。旭川市旭山動物園の飼育係から、絵本作家に。「あらしのよるに」で講談社出版文化賞絵本賞、産経児童出版文化賞JR受賞。

## 「嵐の夜に」

演出：印南貞人（東京芸術座演出部・劇団らくりん座顧問演出）

「私達って本当に変ですよね・・・」。(笑い)

ヤギのメイとオオカミのガブとの会話です。この二匹が友達になった事は本当に変なのでしょうか。私達人間の作った社会通念が間違っているのではないのでしょうか？「男らしくない。女のくせに」は、私の子供時代の親から先生から言われた詞だ。「子供らしくない」「子供のくせに」

民族の違い、言語・宗教・文化の違いが子供たちが、私達人間が異人種の壁を乗り越えられる時がいづらくなったら、どこに創ることが出来るのでしょうか？

私が初めて洋画を観たのは西那須野町にあった映画館でした。六歳の時、超満員の為に母の膝の上でした。「禁じられた遊び」があのメロディーとともに忘れられない強烈な印象です。この「あらしのよるに」を演出・美術を担当して稽古を進める中で蘇ってきます。私が演劇に携わっている「原点」がもしも

ません。

## 「あらしのよるに」の音楽について

音楽担当：上野哲生（作曲家・古楽器演奏家・ロバの音楽座メンバー）

らくりん座からいつも様々な芝居の台本を渡され、劇を観る前にいろんな空想をします。今回「あらしのよるに」は、オオカミとヤギの境遇の違う友情がまるで落語のような楽しさで描かれています。地平線の見える程のどてつもなく壮大な自然の背景の中で友情が小さな存在ではなく、まるでラストの大きな月のように美しく素敵に浮びました。

そのイメージを元に音楽は、大自然を表す壮大な管弦楽から、ズームインして二人の世界のまるで箱琴を爪弾くような小さな世界まで、とても幅の広い音作りになりました。テーマ曲のメロディが印象に残ってくれたら良いなと思っています。

僕がらくりん座の音楽を担当してから、もう40年くらいになるかと思えます。

昔の一座を知る最も古い人間の一人かも知れません。

らくりん座の芝居の楽しさのツボは昔も今も変わらず押えられています。僕の音楽もその一端を担っていることが誇りであります。

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	B17	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	B	区分	A区分
公演団体名	劇団らくりん座				制作団体名	一般社団法人 日本教育演劇道場			

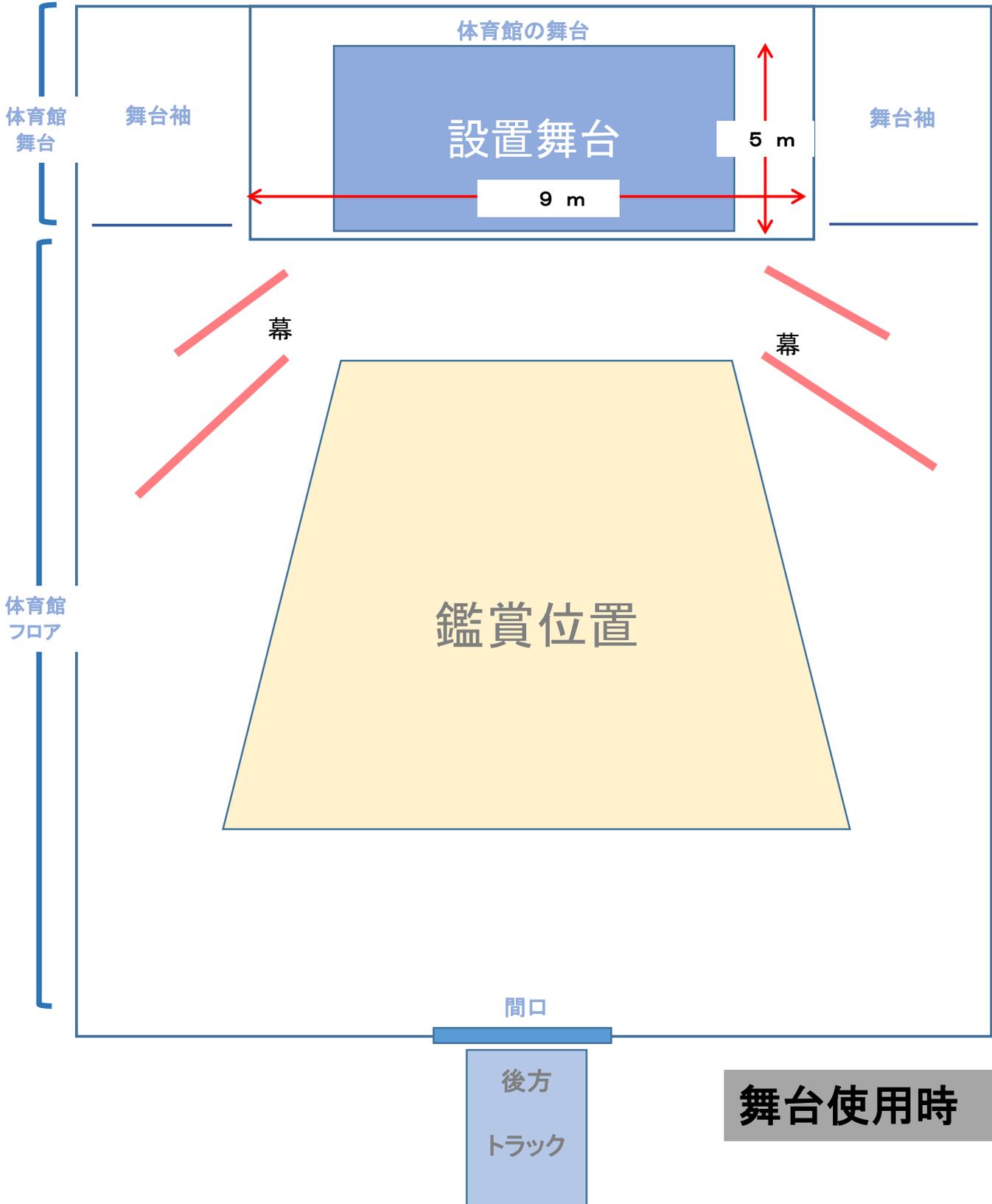
① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	不要	条件	体育館内にて控室をつくるため、長机5台、椅子11脚の用意をお願いします。				可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			2tトラック	1台	バン(1台)/ 乗用車(2 台)	3台	不可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細							/	
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック、バン				可	
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内				可	
	搬入経路の最低条件			2tトラックが通行できる経路が望ましい。				可	
	理由			大道具の搬入をするため				/	
	設置階の制限 *			2階まで可				可	
WSについて	搬入間口について 単位:メートル		幅	1m	高さ	1.8m	可		
	参加可能人数		60人程度まで、それ以上は要相談					可	
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *					可	
	所要時間の目安 単位:分		90分程度					可	
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				/	
	鑑賞可能人数			500名程度まで				可	
	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	9m	奥行	5m	高さ	5.5m	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要				可
		舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物が無い状態				可
		緞帳 *	不要		バトン *	不要			可
	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	照明効果を生かすため。			可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			-
		ピアノの事前調律 *		不要					-
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				可	
	公演に必要な電源容量			60A	※主幹電源の必要容量			可	
その他特記事項							応相談		
ピアノは舞台上に設置してある場合のみ、袖に移動する可能性あり							可		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

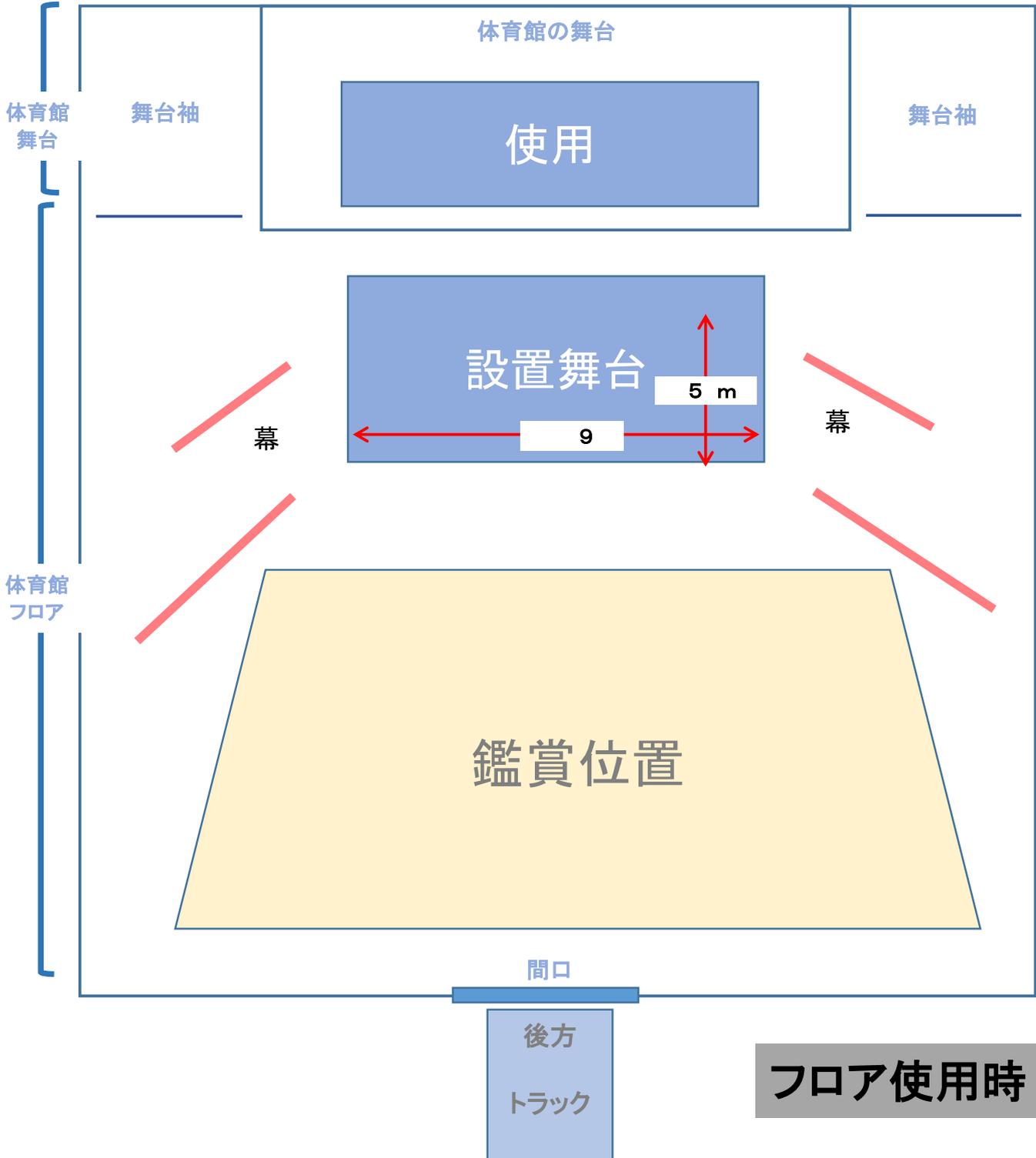
※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



フロア使用時